

公式通知 No.7

2022年3月23日
大会事務局

全クラス宛

2022 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦 / 2022 MFJ カップ JP250 選手権 第1戦 ブリーフィング資料

1. コースイン、ピットイン時の注意事項

- 1) コースインの際に、ピット出口から第1コーナーに引かれているライン(白線)を跨いで走行しないようご注意ください。
ラインを跨いで走行した場合、罰則を科すことがあります。
- 2) ピットレーンの制限速度は60km/hです。ピットレーンの安全確保のため遵守してください。
- 3) 予選、ウォームアップ走行共に、前の走行のチェッカーが提示された後にピットレーンへの整列ができます。ピットレーンでは、走行終了車両と交錯する可能性がありますので、ピットイン及びピットレーンに整列する車両とも接触事故等がないように注意してください。
また、予選/ウォームアップ走行等の出走前にファストレーンで待機する場合は、スタンドを掛たり、タイヤウォーマーを装着することを禁止します。ライダーは乗車しすぐに出走できる体勢にしてください。
走行前・走行中においてパドックとピットレーンの移動は1番ピット横、または45番ピット横ゲートを使用してください。
※第2パドックゲートは使用いたしません。

2. 走行時及びピット作業時の注意事項

- 1) スタート練習場所は以下の通りとします。スタート練習を行うときは後方の安全を十分確認して行ってください。
・ピットレーン出口(予選中はいつでも練習可能) ……対象: JSB1000、ST1000、ST600、J-GP3、JP250
・チェッカー旗を受けた後のヘアピンカーブ立ち上がり右側 ……対象: JSB1000、ST1000、ST600、J-GP3
- 2) 西コース短絡路、東コース短絡路の双方とも走行禁止です。また、黄旗の制限区間は、黄旗提示ポスト～緑旗提示ポストの間です。
- 3) 予選中のピットボックス内での作業は認められません。
- 4) JSB1000のスペアマシンへの乗り換えはピット作業エリアで行ってください。サイティングラップ開始以降のピットボックス内での作業は、当該レースからリタイヤしたものと判断されます。サイティングラップ開始以降の全ての作業は、ピット作業エリアで行ってください。
決勝レースにおけるピットボックスから作業エリアへのスペアマシンの移動は、サイティングラップ開始までに完了してください。

3. フラッグ・ライトパネルの運用について

- 1) コーションシグナルに代わり今シーズンよりライトパネルを導入し、フラッグの補助表示として使用します。
本大会ではイエローライト(シングル・ダブル)・グリーンライト・レッドライトが運用されます。
- 2) RIDE THROUGH ボード、黒旗、オレンジポール旗は従来通りメインフラッグ台で提示すると同時に、シグナルブリッジに追加されたインフォメーションパネルにおいてもゼッケン番号とともに表示されます。

4. 公式予選

- 1) レッカー車で回収した車両は、車検場 脇の車両保管場所でピットクルーに引き渡します。
- 2) 予選中のピットレーン<->第1パドック、第2パドックへの移動は禁止します。予選中にパドックへ移動した場合は、以降予選への出走は認められません。

5. スタート方法について

- 1) サイティングラップを終えグリッドへ移動する際、グリッド後方の赤旗を持ったオフィシャルが立っている位置で一旦停止し、エンジンを切って、手押しで所定のグリッドへ移動してください。その際、ライダーは乗車したまま、ピットクルーが押し歩くことは可能です。
- 2) グリッド上へは、ハンディタイプの電源(ジェネレーター・バッテリー等の蓄電式含む)のみ持ち込み可能です。
不備があるジェネレーター及びエンジンスターターは、オフィシャルの指示に従い速やかにグリッド上から撤去してください。
- 3) ウォームアップラップ開始時のピットレーン出口のシグナルは、グリッドからスタートした最後尾車両がコントロールラインを通過した後30秒間のみグリーンになります。再びシグナルが赤になった時点で、ピットレーンからのウォームアップラップへの出走は認めません。
- 4) レーススタート時のレッドライトは5ユニットのみ使用します。
- 5) レッドライトが消灯された後でエンジンストールした場合、オフィシャルの指示があった時点でエンジン始動を試みる行為を中止し、指示に従ってマシンを速やかにコース外へ退出させてください。
- 6) 「RIDE THROUGH」ボードの提示は、コントロールライン(フラッグ台/インフォメーションパネル)と8番ポストの2箇所です。

6. 暫定表彰式について

- 1) 表彰対象車両は、メインストレート上車両保管場所にて車両保管します。
- 2) 上記以外の対象車両は、車検場横パークフェルメにて車両保管します。車両保管対象以外は、自ピットに戻ります。
- 3) 表彰式は、スーパースピードウェイ上ポーディウムにて行います。
- 4) 表彰式会場へはライダー本人およびチーム監督のみ入場可能です。

7. リアセーフティライトについて (対象: JSB1000、ST1000、ST600)

- 1) 『ウェット宣言』時にはリアセーフティライトを点灯させてください。この場合ピットレーン出口にて、リアセーフティライトの点灯状態を確認します。一旦停止し、オフィシャルの確認を受けてからコースインしてください。
- 2) 『ウェット宣言』に関わらず、リアセーフティライトは常時点灯させることもできます。

8. セーフティカーの運用について (対象: JSB1000)

- 1) 決勝レーススタート直後の一周目は17番ポスト横のピットレーン(東ピットレーン出口)からセーフティカーが介入します。
- 2) 上記以外の場合は、コントロールタワー前のピットレーンより介入します。